

WhaTap AI

release date. 2026. 09. 11.

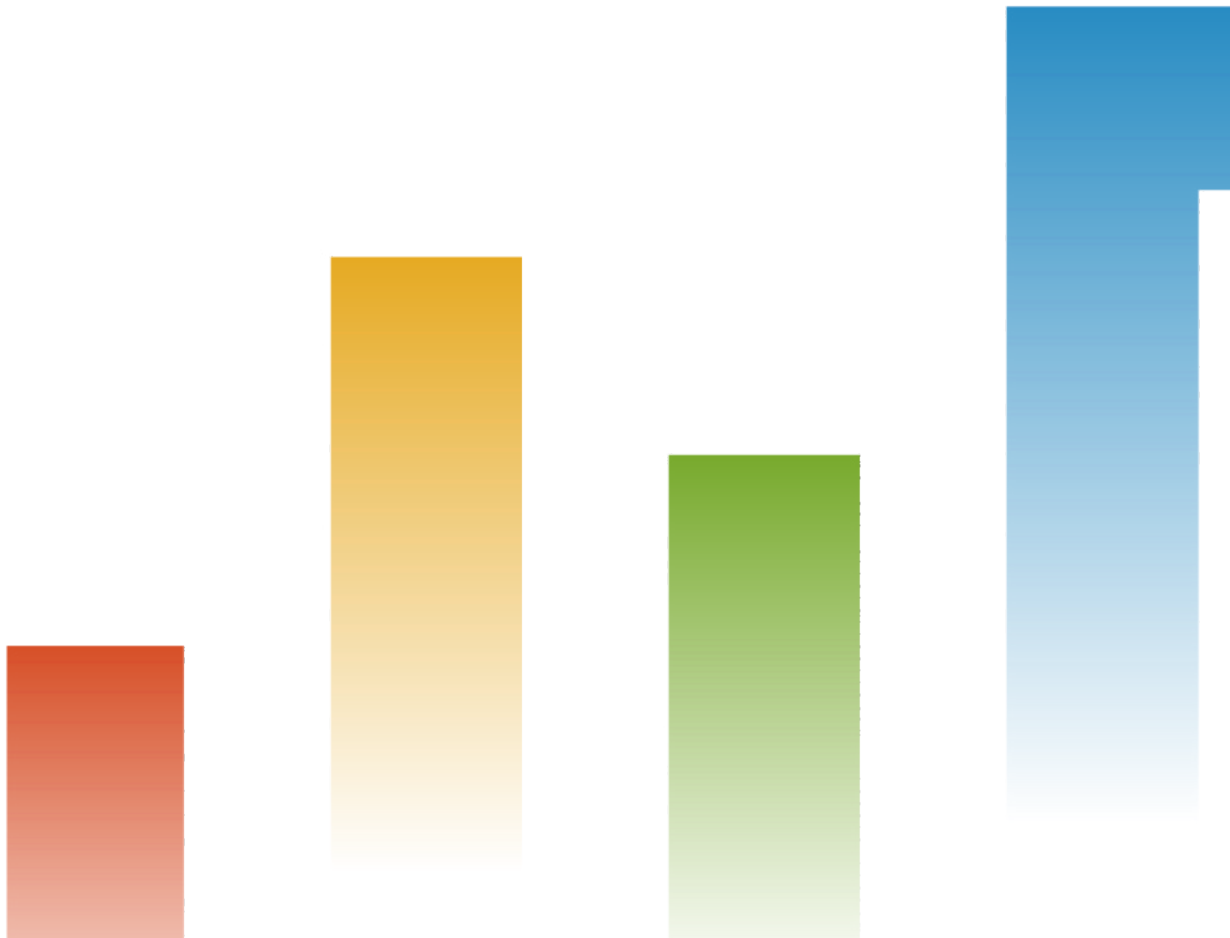


Table of Contents

• WhaTap AI	3
◦ はじめに.....	7
◦ 画面ガイド	11
◦ 活用ガイド	16

WhaTap AI

WhaTap AIは、WhaTapの画面上で自然言語によりAPM・インフラの状態を質問し、回答を得られるAIチャットボットです。ダッシュボードの検索やクエリの学習をしなくても、表示中の画面コンテキストに合わせて指標を照会し、チャートやダッシュボードを作成します。アラートルールのように設定が必要な作業は、適切なルールと設定値を提案し、該当する設定画面へ案内します。モニタリングツールに不慣れなユーザーでも、短い学習でWhaTapのデータを活用できます。

WhaTap AIの価値

画面・フィルター・クエリを覚えなくてもデータに辿り着けます

WhaTapは、トランザクション、インフラ、データベース、Kubernetesなど多様な観測データを収集します。必要な指標を探すには、画面の位置、フィルター、クエリの使い方を知っておく必要があります。WhaTap AIは「過去1時間の中で応答時間が最も遅かったトランザクションを表示してください」のような自然言語の質問だけでデータを照会します。画面操作の習熟にかかる時間を短縮し、必要な情報を素早く確認できます。

現在表示中の画面をそのまま認識します

同じ質問でも、表示中の画面が何かによって回答は変わるべきです。WhaTap AIは、ユーザーが現在開いている画面、画面に表示されているウィジェット、選択した時間範囲を自動的に認識し、そのコンテキストに合わせて回答します。画面を閉じて最初から条件を説明し直す必要はなく、表示中の状態のまま続けて質問できます。

分析目的に合ったダッシュボードを自動で作成します

運用データを可視化するには、通常、ウィジェットタイプ、メトリックの選択、チャート構成のステップが必要です。WhaTap AIは質問の意図に合うチャートを直接選んで応答に添付し、必要に応じてウィジェットを複数まとめたダッシュボードレイアウトまで自動で組み立てます。複数のプロジェクトの状態を1つの画面で確認したい場合は、統合Flexボード(複数のプロジェクトを1画面にまとめたダッシュボード)の形式で作成します。生成した結果はそのまま保存して再利用できます。

アラートルールを提案し、設定画面へ案内します

モニタリングツールは、データを見るためのツールであると同時に運用動作を設定するためのツールでもあります。WhaTap AIは「サーバーのディスク使用率が90%を超えたらCriticalアラートを受け取りたいです」のような要望に対し、適切なアラートルールと設定値を提案し、該当するイベント設定画面へ案内します。どの項目にどの値を設定すべきかを段階的に案内し、設定方法を調べる時間を短縮できます。

韓国語・英語・日本語をすべてサポートします

WhaTap AIは、ユーザーが使う言語を自動的に認識し、韓国語、英語、日本語で応答します。多言語環境のチームがWhaTap AIと一緒に使う際、各自が慣れた言語で質問・回答できるため、ツールの分離や翻訳ステップは必要ありません。

指標の単位と意味を自動で案内します

ダッシュボードに表示されている数値がどの単位なのか、どのような意味なのか曖昧な場合があります。WhaTap AIは、回答に使用した指標の名前とともに単位、種類、簡単な説明を自動的に案内します。数値の誤解釈や単位の差による意思決定のずれを減らせます。

WhaTap AIの主な機能

自然言語クエリとリアルタイム応答

チャット入力欄に普段使う言葉で質問を入力すると、応答をストリーミング形式で受け取れます。応答が完成するまで待たずに、回答が作成されている間に内容を確認できます。

現在画面の認識

現在開いている画面、ウィジェット、時間範囲を自動的に認識し、それに合わせて回答します。同じ質問でも表示中の画面によって回答が変わり、「この画面で」「現在の時間範囲で」のような条件を別途説明する必要はありません。

データ分析

画面に表示された指標をもとに、傾向、異常兆候、改善方法まで分析します。応答には使用した指標の名前と単位、簡単な説明を併記し、数値だけを見て意味を推測する状況を減らします。

ダッシュボード生成

質問の分析目的に合うチャートを選んで応答に添付し、必要に応じてウィジェットを複数まとめたダッシュボードレイアウトを自動で組み立てます。ユーザーが直接ウィジェットを配置しなくても、分析フローに合った可視化を受け取れます。

統合Flexボード生成

複数のプロジェクトや複数の製品の状態を1つの画面で確認したい場合に、統合Flexボードを自動で作成します。プロジェクト単位の個別ダッシュボードを1つずつ開かなくても、全体の運用状況を1か所で把握できます。

アラート設定の案内

アラートルールのようにWhaTap内で設定が必要な項目は、要望の意図に合うルールと設定値を提案し、該当するイベント設定画面へ案内します。提案された項目としきい値を参考に、設定画面でルールを登録できます。

イベントルールの適用と取り消し

WhaTap AIが提案したイベントルールは、応答からそのまま適用できます。適用した結果が意図と異なる場合は、直前の適用を取り消し、適用前の状態に復元します。

画面・イベント分析

コンソール上部の入力欄に分析する対象を入力すると、現在表示中の画面と発生したイベントの文脈に合わせて、原因と対処の方向を分析して案内します。

多言語応答

ユーザーの入力言語を認識し、韓国語、英語、日本語のいずれかで応答します。チームの言語環境に合わせて、別途設

定なしでそのまま利用できます。

応答フィードバック

応答にいいねまたはよくないボタンをクリックしてフィードバックを送信できます。よくないを選択すると、正確性、関連度、分量などの理由を併せて選択でき、入力したフィードバックはWhaTap AIの応答品質の改善に活用されます。

次のステップ

- **はじめに**: WhaTap AIを初めて使う際のフローと事前準備を確認してください。
- **画面ガイド**: WhaTap AI画面の各エリアと使い方を確認してください。
- **活用ガイド**: シナリオ別の質問例と活用方法を確認してください。

WhaTap AIをはじめる

WhaTap AIは、エージェントのインストールやSDKの適用なしに、WhaTapコンソールからすぐに利用できます。本ドキュメントは、WhaTapを初めて使うユーザーがWhaTap AIに入り、最初の質問を送る方法を案内します。

事前条件

WhaTap AIを利用するには、次の項目が準備されている必要があります。

- **WhaTapアカウント:** [ユーザー登録](#)ページからWhaTapモニタリングサービスのアカウントを作成してください。詳細な手順は[アカウント管理 > ユーザー登録](#)を参照してください。
- **モニタリング中のプロジェクト:** APM、サーバー、データベース、KubernetesなどのWhaTapモニタリング製品を1つ以上利用中である必要があります。WhaTap AIは運用中のプロジェクトのデータをもとに回答を作成します。
- **ログインセッション:** WhaTapコンソールにログインした状態である必要があります。WhaTap AIは別途のログイン手順なしに、WhaTapセッションをそのまま利用します。

WhaTap AIを開く

WhaTap AIはコンソール上部の共通エリアで提供されます。特定のプロジェクトを選択しなくても、[WhaTapモニタリングサービス](#)にログインすれば、どの画面からでもすぐに利用できます。起動方法は2つあります。

上部の入力欄から直接質問する

コンソール上部の共通エリアの入力欄に自然言語で質問を入力して送信してください。WhaTap AIが回答とともに画面右側にパネルを開きます。別途ボタンを押さなくても、表示中の画面から直接質問できます。

WhaTap AIボタンでパネルを開く

コンソール上部の**WhaTap AI**ボタンをクリックすると、画面右側にWhaTap AIパネルがスライド形式で開きます。パネルの入力欄に質問を入力して会話を開始します。

パネル上部には次のボタンがあります。

- **新規チャットボタン**(+): 現在の会話を整理し、新しいセッションを開始します。
- **会話履歴ボタン**: 以前の会話の記録を呼び出して確認します。
- **拡大ボタン**: パネルをフルスクリーンサイズに切り替えます。
- **閉じるボタン**(×): パネルを閉じます。

最初の質問を送る

パネルが開いたら、入力欄に自然言語で質問を入力して送信します。

1. 入力フィールドに質問を入力してください。表示中の画面や分析目的に合わせて、自然言語で記述します。
 - **画面データの分析**: 実行中のスレッドの状態を分析してください。
 - **ダッシュボードの作成**: データベースのリソースとRAC関連の指標でダッシュボードを構成してください。
 - **アラートの設定**: サーバーのディスク使用率が90%を超えたらCriticalアラートを受け取るように設定してください。
 - **統合Flexボード**: 全プロジェクトの状態を教えてください。
2. 入力欄右下の**送信ボタン**(↑アイコン)をクリックするか、**Enter**を押して質問を送信します。
3. WhaTap AIが応答を1文字ずつストリーミング形式で表示します。応答が完成する前でも、作成中の内容をすぐに確認できます。

✔ WhaTap AIは、現在開いている画面の時間範囲とウィジェット情報を自動的に認識します。時間範囲や対象画面を別途説明しなくても、表示中のコンテキストのまま質問できます。

⚠ AIの応答は正確でない場合があります。重要な決定は必ずご自身で確認してください。

応答に含まれる診断カード、フォローアップ質問チップ、チャート、ダッシュボード、アラートルール適用ボタンを活用する方法は、[活用ガイド](#)を参照してください。

セッションの管理

WhaTap AIは、ユーザーの分析コンテキストを継続するため、次のポリシーで動作します。

- **セッションの維持:** パネルを閉じて再度開いたり、別の画面に移動したりしても、同じブラウザタブの中では以前の会話コンテキストがそのまま維持されます。
- **新規セッションの開始:** パネル上部の**新規チャットボタン**(+)をクリックすると、現在の会話を整理し、新しいセッションを開始します。
- **会話履歴の保持:** 過去3日間の会話履歴を保持します。

応答フィードバックの送信

WhaTap AIの応答品質はユーザーが直接評価できます。フィードバックは応答品質の改善資料として活用されます。

1. 応答下部のいいねボタン(👍)またはよくないボタン(👎)をクリックしてください。
2. よくないを選択すると理由選択画面が表示されます。次の中から最も近い理由を選択してください。
 - 正確ではありません
 - 求めていた回答ではありません
 - 内容が不足しています
 - 長すぎます
 - その他 (追加の意見を直接入力)
3. 送信ボタンをクリックしてフィードバックを送信します。

応答をそのまま取得したい場合は応答下部の**コピーボタン**を、ファイルとして保存したい場合は**ダウンロードボタン**をクリックしてください。

次のステップ

- **画面ガイド:** WhaTap AI画面の各エリアと使い方を詳しく確認してください。
- **活用ガイド:** シナリオ別の質問例と活用方法を確認してください。

- [WhaTap AIの紹介](#): WhaTap AIがどのような課題を解決し、どのような機能を提供するかを確認してください。

WhaTap AI 画面ガイド

WhaTap AIは、WhaTapコンソール内で別個のウィジェット形式で動作します。本ドキュメントは、WhaTap AIの各画面エリアがどのような役割を果たし、どのように使うかを案内します。

WhaTap AIメイン画面。コンソール上部の入力欄と起動ボタン、右側パネル

画面構成

WhaTap AIの画面は、次のエリアで構成されています。

- **上部の入力欄:** コンソール上部の共通エリア(Global Header)の入力欄です。自然言語で質問を直接入力してWhaTap AIを開始します。
- **起動ボタン:** コンソール上部の共通エリアの**WhaTap AI**ボタンで、右側パネルを開く入口です。
- **パネルヘッダー:** 新規チャットの開始、会話履歴、パネル拡大、閉じるなど、パネルの状態を制御します。
- **応答エリア:** WhaTap AIが回答、チャート、フォローアップ質問チップ、診断カードを表示します。
- **応答アクションエリア:** 応答へのフィードバック送信、コピー、ダウンロード機能を提供します。
- **入力フィールド:** 自然言語で質問を入力して送信するエリアです。

WhaTap AIは、特定のプロジェクトを選択しなくても、コンソール上部の共通エリアからどの画面でも利用できます。

上部の入力欄

コンソール上部の共通エリアには、自然言語の質問を直接入力する入力欄があります。質問を入力して送信すると、WhaTap AIが回答とともに右側パネルを開きます。パネルを先に開かなくても、表示中の画面から直接質問できます。

起動ボタン

コンソール上部の共通エリアに**WhaTap AI**ボタンがあります。紫色の丸型ボタンに、ダイヤモンドアイコンとWhaTap AI ラベルが併せて表示されています。

WhaTap AIボタンをクリックすると、画面の右側にWhaTap AIパネルがスライド形式で開きます。WhaTap AIは現在開いている画面情報を自動的に認識するため、どの画面でボタンを押したかによって回答が変わります。

パネルヘッダー

パネル上部の左側にはダイヤモンドアイコンと WhaTap AI ラベルがあり、右側にはパネルの状態を制御する4つのボタンがあります。

- **新規チャットボタン(+)**: 現在の会話を整理し、新しいセッションを開始します。以前の会話コンテキストは応答に反映されなくなります。
- **会話履歴ボタン(時計アイコン)**: 過去の会話一覧を開きます。一覧から会話を検索し、タイトルと経過時間で過去の会話を再度呼び出せます。会話一覧を開いている間は、このボタンが**戻る(←)**ボタンに変わり、現在の会話に戻ります。会話一覧は、最後の会話を終了した時点から3日が経過すると削除されます。
- **拡大ボタン**: パネルをフルスクリーンサイズに切り替えます。応答に含まれるチャートや表をより広く確認したいときに使います。
- **閉じるボタン(×)**: パネルを閉じます。同じブラウザータブ内であれば、再度開いても以前の会話がそのまま維持されます。

応答エリア

応答はテキストだけでなく、多様な視覚要素で構成されます。

診断サマリーカード

分析結果の重要な結論をカード形式で表示します。重大度に応じて次の色を使います。

- **Critical**: 即時の対応が必要な重大な状態です。
- **Warning**: 注意が必要な状態です。
- **Info**: 参考用の案内です。

カード内に結論を裏付ける指標値(例: APDEX、不満足トランザクション比率)を併せて表示します。

フォローアップ質問チップ

WhaTap AIは、応答の下に追加で質問できる候補をチップ形式で提案します。たとえば、応答遅延の分析結果の下に、SQLボトルネック分析、HTTP外部呼び出し(HTTPC)分析、GC / ヒープメモリ分析、アクティブTX詳細分析 のようなチップが併せて表示されます。チップをクリックするとその質問をそのまま送信できるため、直接入力しなくても分析を継続できます。

進捗状況の表示

WhaTap AIがデータを収集または分析している間、応答上部に `n steps completed` の形式で進捗状況を表示します。トグルを展開するとステップごとの作業内容を確認でき、どのデータを照会したかを追跡できます。

チャートとダッシュボード

応答に添付されたチャートは、クリックして拡大表示したり、ダッシュボードに保存したりできます。WhaTap AIはウィジェットを複数まとめたダッシュボードレイアウトや、複数のプロジェクトの状態をまとめた統合Flexボードを併せて提案することもあります。

応答アクションエリア

応答の下部には、応答品質を評価し、結果を再利用できるアクションボタンがあります。

フィードバックの送信

- いいねボタン(👍): 応答が役立った場合にクリックします。
- よくないボタン(👎): 応答が満足できなかった場合にクリックします。クリックすると次の理由のいずれかを選択できます。
 - 正確ではありません
 - 求めていた回答ではありません
 - 内容が不足しています
 - 長すぎます

- **その他** (自由入力)

理由を選択後、送信ボタンをクリックしてフィードバックを送信します。送信されたフィードバックは、WhaTap AIの応答品質の改善に活用されます。

応答のコピーとダウンロード

- **コピーボタン**: 応答本文をクリップボードにコピーします。レポート、メッセージャー、メールなどに応答内容をそのまま貼り付けるときに使います。
- **ダウンロードボタン**: 回答1件または会話全体をファイルとして保存します。ファイル形式を選ぶと、保存範囲を選択するメニューが続けて開きます。

ファイルとして保存する手順は次のとおりです。

1. 応答下部の**ダウンロード**ボタンをクリックしてください。
2. **Markdown**、**PDF**、**HTML** のうち、ファイル形式を選択してください。
 - ファイル形式

Format	Description
Markdown	編集可能なテキストとして保存。回答本文を他のドキュメントに書き写すときに使用
PDF	画面に表示されているとおりに画像として保存
HTML	画面に表示されているとおりにWebドキュメントとして保存

3. この回答 または 会話全体 を選択してください。
 - 保存範囲

Scope	Description
この回答	選択した回答1件のみ保存
会話全体	現在の会話のすべての質問と回答を順番に保存

Markdown で **会話全体** を保存すると、質問と回答をロールラベルとともに順番に記録します。**PDF** や **HTML** で保存すると会話画面をそのまま収め、回答ごとに付くコピー・ダウンロード・評価ボタンはドキュメントから除外します。ファイル名は `whatap-ai-answer-20260821-143000.md` のように、保存範囲と保存時刻から作成します。

入力フィールド

パネル下部には、自然言語で質問を入力するフィールドがあります。

1. 入力フィールドをクリックし、普段使う言葉で質問を入力してください。
2. 入力欄右下の送信ボタン(↑アイコン)をクリックするか、`Enter` を押して質問を送信します。
3. WhaTap AIが応答を1文字ずつストリーミング形式で表示します。

ⓘ 入力フィールドの下には、常に次の免責事項が表示されます。

AIの応答は正確でない場合があります。重要な決定は必ずご自身で確認してください。

次のステップ

- **WhaTap AIをはじめる**: 初めて使う際のフローと事前条件を確認してください。
- **活用ガイド**: シナリオ別の質問例と活用方法を確認してください。
- **WhaTap AIの紹介**: WhaTap AIがどのような課題を解決し、どのような機能を提供するかを確認してください。

WhaTap AI 活用ガイド

本ドキュメントは、WhaTap AIを実際の運用状況で活用する方法をシナリオ別に案内します。WhaTap AIの機能概要は[WhaTap AIの紹介](#)、初めて使うフローは[はじめに](#)、画面構成は[画面ガイド](#)を参照してください。

効果的に質問する方法

WhaTap AIは自然言語の質問をそのまま理解しますが、質問が具体的であるほどより正確な回答を受け取れます。次の3つを質問に含めると役立ちます。

- **対象。**どの指標やリソースを見たいかを明示します。たとえば、応答時間、CPU使用率、特定のトランザクションを指定します。
- **期間。**「過去1時間」「今日の午前」のように照会する時間範囲を併せて記述します。期間を記述しない場合は、現在表示中の画面の時間範囲に従います。
- **条件。**「最も遅い」「90%を超える」「エラーが発生した」のように希望する条件を加えると、結果を絞り込めます。

✔ WhaTap AIは、現在開いている画面とウィジェット、選択した時間範囲を自動的に認識します。「この画面で」「現在の時間範囲で」のような条件を毎回説明しなくても、表示中のコンテキストを引き継いで質問できます。

シナリオ別の活用

ⓘ 以下の応答は理解を助けるための例です。実際の応答は、表示中の画面、選択した時間範囲、収集されたデータによって変わります。

パフォーマンスの異常を素早く診断する

パフォーマンス低下が疑われるとき、画面を移動しながら指標を探す代わりに、自然言語で直接質問します。WhaTap

AIは画面に表示された指標をもとに、傾向や異常兆候、改善の方向まで分析して案内します。

「過去1時間の中で応答時間が最も遅かったトランザクションを表示してください」

過去1時間を基準に応答時間が遅いトランザクションを整理し、最も遅いトランザクションの応答時間の推移チャートを併せて表示します。回答には使用した指標の名前と単位、簡単な説明を併記します。

次のように質問することもできます。

- ・「今日の午前にエラーが最も多く発生したサービスはどこですか」
- ・「現在の画面でCPU使用率が急増した時点を分析してください」

必要なダッシュボードを作成する

ウィジェットタイプとメトリックを直接選ばなくても、分析目的を伝えと、WhaTap AIがチャートを選んで応答に添付し、必要に応じて複数のウィジェットをまとめたダッシュボードレイアウトまで組み立てます。生成した結果はそのまま保存して再利用できます。

「直近24時間の応答時間とTPSを一緒に見るチャートを作成してください」

直近24時間の範囲で応答時間とTPSを併せて表現したチャートを選んで応答に添付します。複数の指標を1つの画面で見たい意図であれば、ウィジェットをまとめたダッシュボードレイアウトに組み立てて提供し、結果はそのまま保存できます。

次のように質問することもできます。

- ・「このサービスのCPU、メモリ、ネットワーク使用量を1つの画面にまとめてください」

複数のプロジェクトを1つの画面で見る

複数のプロジェクトや複数の製品の状態を併せて確認したいとき、統合Flexボードを自動で作成します。プロジェクトごとのダッシュボードを1つずつ開かなくても、全体の運用状況を1か所で把握できます。

「運用中の全プロジェクトの応答時間を1つの画面で比較してください」

複数のプロジェクトの応答時間を1か所にまとめた統合Flexボードを作成します。プロジェクトごとのダッシュボードを個別に開かなくても、全体の状態を並べて比較できます。

アラートルールを設定する

WhaTap AIは、アラートの要望に適切なルールと設定値を提案し、該当するイベント設定画面へ案内します。提案されたルールは応答からそのまま適用でき、適用結果が意図と異なる場合は、直前の適用を取り消して以前の状態に復元します。

「サーバーのディスク使用率が90%を超えたらCriticalアラートを受け取りたいです」

ディスク使用率90%超過を条件とするCriticalアラートルールと設定値を提案し、該当するイベント設定画面へ案内します。提案されたルールは応答からそのまま適用したり、適用後に直前の状態に戻したりできます。

次のように質問することもできます。

- ・「応答時間が3秒を超えるトランザクションが発生したらアラートを送ってください」

指標の意味と単位を確認する

ダッシュボードに表示された数値の単位や意味が曖昧なとき、そのまま質問できます。WhaTap AIは、回答に使用した指標の名前と単位、種類、簡単な説明を併せて案内します。

「Working Setメモリはどのような意味ですか」

該当する指標の意味と単位、種類を、簡単な説明とともに案内します。回答に使用した指標には名前と単位が併記され、数値だけを見て意味を推測しなくて済みます。

次のように質問することもできます。

- ・「このチャートの値はどのような単位ですか」

画面とイベントを分析する

コンソール上部の入力欄に分析する対象を入力すると、現在表示中の画面と発生したイベントの文脈に合わせて、原因と対処の方向を分析して案内します。

「先ほど発生したイベントの原因を教えてください」

現在表示中の画面と発生したイベントの文脈を認識し、原因と対処の方向を分析して案内します。画面を閉じて条件を説明し直さなくても、表示中の状態のまま続けて分析を受け取れます。

次のように質問することもできます。

- ・「現在の画面を分析してください」

応答の活用

応答には、テキストの回答のほかに、診断カード、フォローアップ質問チップ、チャート、ダッシュボード、アラートルール適用ボタンが併せて表示されることがあります。

- ・ **診断サマリーカード**: WhaTap AIが分析結果をカード形式でまとめて表示します。重要な結論と重大度(**Critical** / **Warning** / **Info**)を色で併記します。
- ・ **フォローアップ質問チップ**: 応答の下に、追加で質問できる候補がチップ形式で提案されます。チップをクリックすると、その質問をそのまま送信できます。
- ・ **チャート**: 応答に添付されたチャートは、そのまま拡大表示したり、ダッシュボードに保存したりできます。
- ・ **ダッシュボードレイアウト**: WhaTap AIがウィジェットを複数まとめたレイアウトを提案した場合、そのまま保存して再利用できます。
- ・ **統合Flexボード**: 複数のプロジェクトの状態を1つの画面で確認したい場合、WhaTap AIが統合Flexボードを提案します。保存しておく、運用状況の点検用の入口画面として活用できます。
- ・ **アラートルールの適用**: 応答にアラートルール適用ボタンが表示されたら、ルールの内容を確認したうえで1クリックで適用します。

活用のヒント

- ・ **表示中の画面をそのまま引き継いで質問する**。画面を閉じて条件を説明し直す必要はなく、開いている画面と時間範囲を基準に質問を続けられます。
- ・ **多言語で利用する**。韓国語、英語、日本語のうち入力した言語を認識し、同じ言語で応答します。多言語チームが各自の慣れた言語で一緒に利用できます。
- ・ **応答にフィードバックを送る**。応答にいいねまたはよくないボタンでフィードバックを送れます。よくないを選択すると、正確性、関連度、分量などの理由を併せて選択でき、入力したフィードバックは応答品質の改善に活用されます。

関連ドキュメント

- [WhaTap AIの紹介](#)。WhaTap AIの価値と主な機能を確認してください。
- [はじめに](#)。初めて使う際のフローと事前準備を確認してください。
- [画面ガイド](#)。WhaTap AI画面の各エリアと使い方を確認してください。